

常潤の誉れ

鹿児島県立加世田常潤高等学校

自慢の黒豚味わって 鹿児島5農高がフェア



自慢の黒豚肉を消費者に販売する農高生

産科3年の池田藍(いけだ あい)と期待を寄せた。会場には「消費者に直接販売するのは初めて。自分たちが手間暇かけて育てた黒豚肉をぜひ味わってほしい」と売込みを繰り返した。農高の重留和秀(じゅうりゅうわしゅう)は「黒豚の消費拡大に向けて、農高が結束して、消費者への販売や生徒同士の交流を通じ、学習意欲の向上にもつながりたい」と話した。

【かしま】鹿児島県内で黒豚を飼育する5農高の生徒が13日、黒豚フェアを鹿児島市で開いた。農高での飼育管理や加工品づくりを紹介しながら、消費者に黒豚肉を販売。黒豚の魅力やおいしさを発信し、消費拡大を呼びかけた。

参加したのは、加世田(かせだ)紹介、来場者に自慢の田舎(いなか)産(さん)の黒豚肉(くろぶたにく)の他、黒豚(くろぶた)を飼育(かいよ)する佐藤(さとう)農高(のうこう)、鹿屋(かや)農高(のうこう)や黒豚(くろぶた)シユウマイ(シユウマイ)な(な)がパネ(パネ)ル(ル)を準備(じゅんび)し、黒(くろ)豚(ぶた)の肉(にく)を販売(はんばい)した。農高(のうこう)生(せい)徒(と)ら45人(にん)が参加(さんか)した。鹿屋(かや)農高(のうこう)畜(ちく)産(さん)部(ぶ)の重留(じゅうりゅう)和秀(わしゅう)は「黒豚(くろぶた)肉(にく)の消費(しょうひ)拡大(くわくだい)に向けて、農高(のうこう)が結束(けつご)して、消費者(しょうひや)への販売(はんばい)や生徒(せいと)同(どう)士(し)の交流(こうりゅう)を通(とお)じ、学習(がくしゅう)意欲(いよく)の向上(こうじょう)にもつなが(つな)が(が)りたい」と話(わ)した。